

epoch

エポック No102

～千代田区生涯学習推進委員会議だより～
平成29(2017)年9月 発行

第11期第7回 会議要旨

平成29年8月2日(水)、第7回生涯学習推進委員会議が開催されました。

今回は、まず7月20日(木)と8月1日(火)に実施した「ちよだ生涯学習カレッジ」入学説明会の実施及び第2期生の募集状況の報告をしたのち、今期のテーマ「学びを紡ぎ地域を結ぶネットワークづくり」の実現に向けて、「千代田区生涯学習連絡会」の設置についての検討、そして「ちよだ生涯学習カレッジ」の「学びと地域のコーディネーター」卒業後の展望について議論が交わされました。

「ちよだ生涯学習カレッジ」第2期生の募集状況について

報告事項

自由意見

- 現在まで応募はないが、引き続き募集中。
- 入学説明会は7月20日(木)の1回目に2名、8月1日(火)の2回目は大雨にもかかわらず6名が参加した。昨年よりも出席者は少ない。
- 事務局の印象としては、説明会参加者の年齢層が若いと感じた。一番若い方は大学院生。
- 説明会参加者へのアンケートでは、実際に申し込みたいという方は8割程度。
- 昨年も締切前日までは応募数20名程度だったが、最終日に10名以上の応募があった。今年の実績は予想できないが、引き続き周知していく。
- 昨年はモニターコースを実施していたため、募集開始後すぐの応募者が5名程度いた。
- 今年は募集案内配布施設への対応を充実させるため、図書館及び九段生涯学習館の講座資料の中に募集チラシを封入したほか、募集ポスターを館内のより目立つ場所へ設置した。

- 潜在的ニーズについては昨年度対応して満たしているため、今年の実績が少ないことはある程度予想された。
- 最近の学生は体験してから決める傾向があるので、チラシ配布だけでは動機付けには弱い可能性がある。1回でも体験の場があるとよい。
- 画像や映像では実際の臨場感がないので、模擬授業があるとよい。大学のオープンキャンパスや説明会の時にはそのようにしている。
- 応募を迷っている人は、授業の雰囲気を知りたいのではないかと思う。授業の見学をいつでもできるようにするとよい。
- 授業の見学は募集期間に関わらずできるため、年間を通じていつでもアピールできる状況にしておくとうい。
- 応募資格の区内在住・在勤・在学について、今後廃止を考えてもよいかもしれない。差別化は授業料によって図ることもできる。

「学びを紡ぎ地域を結ぶネットワークづくり」

① 千代田区生涯学習連絡会設置要綱(案)について

- ・ 目的 連絡会を通じて生涯学習施設及び関係機関等（以下「学習施設等」）の相互連携の体制を構築することにより、千代田区内に集積する生涯学習の資源等の有効活用を図り、もって千代田区における生涯学習の振興に資することを目的とする。
- ・ 所掌事項 (1) 学習施設等における生涯学習の資源等の情報交換に関すること。
(2) 連絡会の構成団体が協力して実施する事業に関すること。
(3) そのほか、連絡会が必要と認める事項に関すること。
- ・ 構成団体 アーツ千代田3331、ちよだボランティアセンター、高齢者活動センター、まちみらい千代田、千代田区観光協会、千代田図書館、日比谷図書文化館、九段生涯学習館、スポーツセンター、指導課、児童・家庭支援センター、コミュニティ総務課、麴町出張所、富士見出張所、神保町出張所、神田公園出張所、万世橋出張所、和泉橋出張所、生涯学習・スポーツ課
- ・ 開催等 (1) 年1回以上開催する。
(2) 地域振興部生涯学習・スポーツ課長が招集する。
(3) 必要に応じ、構成団体以外の団体の者を出席させることができる。
- ・ 事務局 地域振興部生涯学習・スポーツ課管理係に置く。
- ・ その他 このほか、連絡会の運営に関し必要な事項は、その構成団体の協議により定める。

○第1回を9月15日（金）に開催予定。
○副館長、事業担当係長等の実務担当者の出席を依頼。

○開催前に、ちよカレ卒業生の活躍できる場や連携・協力を図りたい事業等について、アンケート調査を行い情報収集する予定。

質疑応答・意見等

○開催数「年1回以上」では、開催に消極的に見える
⇒別の会議で「年2回」と決めて、形骸化してしまっているものがある。状況に応じて柔軟に対応できるようにこのような表記にした。
○たくさんの機関が集まるので、部署や行事紹介で終わらないようにしてもらいたい。交換した情報を活用していくために、事前準備をしっかりとる必要がある。

○時季限定のイベントがあるので、年間を通じて各機関の情報を把握する必要がある。
○学社連携の視点から、直接の学校関係者が入っていたほうがよい。
⇒構成団体は、連絡会の発展とともに拡充する方向で検討していく。
○「千代田区『定期』連絡会」と「定期」を入れてみたらどうか。
⇒「千代田区生涯学習連絡会」でスタートする。

② 認定「学びと地域のコーディネーター」の展望について

A：ちよカレサポーター

カレッジサポーターとしてちよカレ運営に関わることができる。

B：人材バンクの拡充

現在の講師登録に加え、ボランティア・プロボノを新たにカテゴリーに追加し、「学びと地域のコーディネーター」として登録可能にする。

また、人材バンク登録後の活動発展のため、現行の人材バンク活用講座に加え、区民自主企画運営講座に応募可能にする。

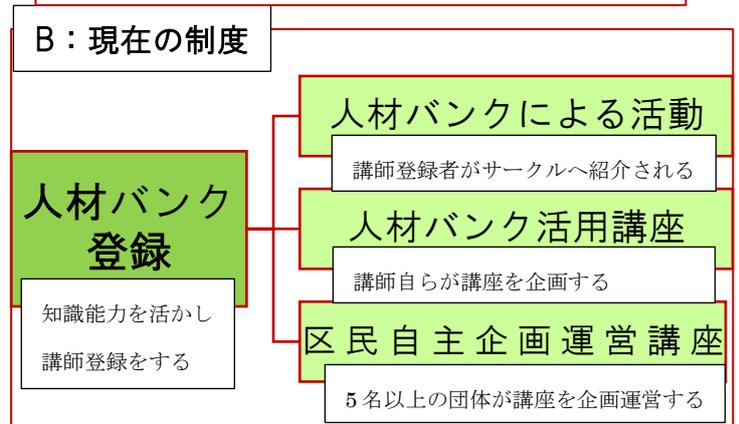
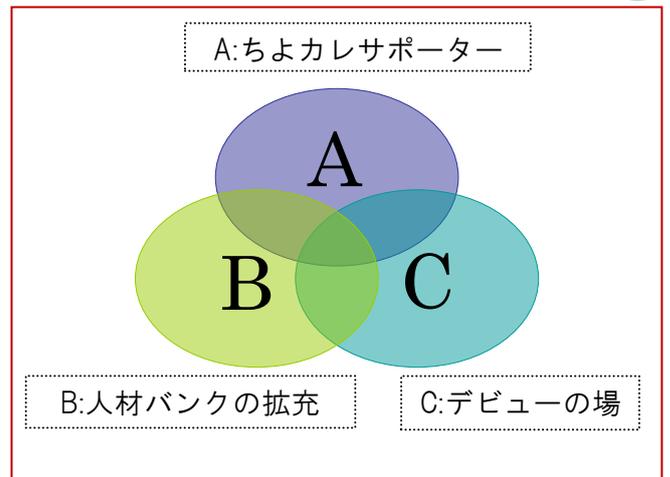
(右「B」図参照)

C：デビューの場

「千代田区生涯学習連絡会」などから情報を収集し、公募の会議体やボランティア、活動助成制度などについて情報提供と相談を実施する。

質疑応答・意見等

- 区民自主企画運営講座には講師謝礼として1回2万円助成している。交通費や講師へのお茶代もかかるので、講師謝礼に限らずに一括2万円にしたほうが使い勝手がよいのではないか。
- 実際にボランティアセンターで活躍していた第1期生もいたことから、ボランティアセンターでは「C デビューの場」において連携できそうだと感じる。
- 若い学生は、お金になるか仕事になるようなことにつながればよいと思っているのかなと思う。
- ⇒大学生等は就職活動の評価のための可能性もある。
- 町会活動の固定化や町会員不足のため、ぜひ町会に参画してもらいたい。
- ⇒千代田の古い町会の一部には、新しい方を受け入れない雰囲気もある。
- ⇒町会活動へ参画する場合には、良好な関係構築が重要なため、何度も諦めずに活動や行事へ参加してもらいたい。



- 卒業後の活動等イメージが見えれば、ちよカレ入学希望者も増えるのではないかと。
- 小学校のボランティア依頼は学校ごとに行っており、人材集めに苦労しているので連携できれば助かる。
- 学校内で区のチラシを貼っても配っても、なかなか学生に伝わらない。誰かファシリテーターとして説明してほしいと思うことがある。
- 地元のお祭りで学生ボランティアを募っていた。そこにも参画できるのではないかと。
- 千代田区生涯学習連絡会において、縦割りの役所の情報を紡ぐ役割が必要である。これを卒業生にやってもらえるとよい。
- 最近の若い人はボランティア意識が高い。この人たちへアプローチする仕組みを作ることができれば、ちよカレ入学希望者も若年層が増えると思う。





「学ぶ動機を見出す」

浅川 宏

7月末に2016年の日本人の平均寿命が男性80.98歳、女性87.14歳で過去最高を記録したとの報道がありました。高齢者現役社会が現実味を帯びてくる今日、医療や年金分野でも様々な制度改革が進んでいます。それに伴い、改めて生涯に渡り学び続ける大切さを感じます。このような状況にあって「加齢に伴って知能や記憶力が低下することは誤解であり、意欲の低下が問題である。」という精神科医の和田秀樹氏の記事を目にしました。意欲の保持には、前頭葉やホルモンが大きくかわることはよく知られていますが、同時に体の機能を保つためには、衰えを感じた部位を意識して使うことが大切であると言われます。それだけに意欲をもって取り組むには、動機づけが何よりも大きな力になります。

就学前から始まる学校教育の期間は、長い人生の四分の一にも満たない存在ですが、生涯に渡って学び続ける意欲や動機づけの基盤となる存在です。そこで様々な動機の基に学び続ける大人の姿は、いつまでも学び続ける人間でありたいという子供たちの生きる力への希望を与えるよきモデルという動機づけになると考えます。その意味で、どの世代にあっても自分自身に合った学ぶ動機を見出すことが大切であり、学びのスタートであると考えます。



「出会い」

丸山 輝

好きな言葉は何?と聞かれたら、私は“出会い”と答えるでしょう。これまで人との出会い物事との出会いが様々な喜びや発見をもたらしてくれたからです。

私の“生涯学習”との出会いは区報で人材バンク活用講座の企画案募集の記事を見た事に始まります。当時、高校の教師であった私が仕事を退いて、さてこれからどのように歩いて行こうかと思っていた矢先の事であり、経験を生かす事の出来そうなこの記事に飛びつきました。幸いに企画案が通り古典文学の講座を持つ事ができ、それを機に継続を望む受講者数人とともに九段生涯学習館のバックアップのもと区民自主企画運営講座を立ち上げ今日にいたっています。

わたくしの役割は講師というより道先案内人であり、動機付け人と言った方が適しているかもしれません。昔習った事、読んだことなどを思い出して、さらに発展させていっていただけるようお手伝いをしていると思っています。色々な人生経験のもとに、先人の残した作品を共に読んで行くことはそこに新たな発見や気づきがあり、様々なものとの出会いが生まれます。その出会いに喜びを感じ各自各様に生活の中に活かしていただけることが私自身のよろこびでもあり、学びでもあります。

物質的な豊かさに蝕ばれつつある今日、様々な物事に学びの目を向け、その中での出会いを大切にし、各自の中で育み、心豊かに過ごしていくことが生涯学習の意義とよろこびなのではないでしょうか。

編集後記（事務局より）

第11期第7回のエポックをお送りいたしました。ちよだ生涯学習カレッジについての議論も終盤に入ってまいりました。

ご多忙の中、リレー随筆をお引き受けいただいた浅川委員、丸山委員、心から御礼申し上げます。

次号エポックも、よろしくお願いたします。

【編集／発行】

地域振興部 生涯学習・スポーツ課

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1

TEL：03-5211-3632

FAX：03-3264-1466

Email：shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp